

社会福祉法人東北福祉会

令和7年度 事業計画

1. 理念

すべての人がひとりの人間として尊重され、個性が輝く共生の地域づくり

2. 重点事項と取組内容

(1) 法人経営の安定化に加え、社会のニーズに添った事業の取り組みを行う

- ①収益増対策計画に基づく財政基盤を確立する
- ②利用率の向上並びに、障がい者福祉サービスを展開する
- ③現状の課題と課題解決に向けた分析を行い、経営会議を中心に管理経営職が経営改善に全力で取り組む
- ④建物の老朽化や大規模修繕等の計画策定し実施する
- ⑤地域が必要とする公益活動へ取り組む
- ⑥有事に備えたBCPに基づく訓練・研修を継続する

(2) 多様な働き方と人財確保

- ①多様な働き方を導入し、人材の獲得と定着に繋げる仕組み作りを行う
- ②慢性的な超過勤務の削減に取り組む
- ③人財採用チームの採用計画、採用活動等に基づき、人材の確保に取り組む。また、外国人材の活用についても情報収集を行う
- ④サービスの質の向上と生産性の向上のためのICT、ロボット等を活用する
- ⑤働き方改革への取り組みの継続と働きやすい職場環境づくりを行う

(3) 組織体制の強化と人財育成

- ①職員の適正配置の見直しを行い、組織体制（ガバナンス）の強化を図る
- ②東北福祉大学実習支援センターとの連携による実習受け入れを強化する
- ③拠点間人事異動により組織体制の強化を図る
- ④リーダー職、指導職を担う（担える）人財の育成を目的とし、外部機関による研修を行う
- ⑤人財育成・評価チームを中心とした教育プログラムの策定と実施、実施後の評価・分析を行う。教育プログラムに基づいた育成状況等に応じた人事考課（人財評価制度）システムの再構築に取り組む
- ⑥虐待・権利侵害の根絶に向けた教育を強化する

3. 中期行動計画に基づく取組事項（※令和4年度からの取組事項含む）

(1) 人財採用チーム

- ①HPとSNS広告＋ペーパー広告の活用の検討（終了）
- ②求才オペレーションの再検討（継続）

(2) 人財育成・評価チーム

- ①法人階層別研修プログラムの整理・策定（継続）
- ②領域別専門教育の促進（終了）
- ③退職リスクの低減に向けた仕組の構築（継続）
- ④個人面談によるキャリアデザインの希望の把握と学習支援の実施（継続）
- ⑤社会福祉士会、介護福祉士会等との連携による研修の企画と実施の検討（継続）

(3) BCP 策定ワーキングチーム（終了）

- ①火災・地震・浸水（風水害）・感染症対策BCPの策定（終了）
- ②防犯器具の整備・防犯訓練の実施（終了）

(4) 労働安全チーム

- ①5S活動と労働安全推進活動の実施（継続）
- ②職場環境や労働者の安全意識の啓発などに関する労働安全推進者の選任（終了）

- ③衛生委員会による職場巡視チェック体制構築（終了）
- ④労働災害発生原因の調査及び情報共有（継続）
- ⑤職場健康づくり風土の醸成のための取り組みの実施（継続）
- ⑥ストレスチェックの活用（継続）

（５）運営環境整備チーム

- ①くるみん認定（子育て支援）の推進（終了）

（６）事業運営・企画チーム

- ①介護アシスタントの採用促進と育成（終了）
- ②スポットや限定業務などの導入と育成（終了）
- ③専門パート職員やその他の契約職員の採用・育成の促進と、それに応じた業務の見直し（終了）
- ④虐待防止・身体拘束原則禁止の推進（継続）
- ⑤満足度調査の実施、外部評価の実施（継続）
- ⑥一般監査・実地指導での指摘事項ゼロ・好事例の提供の実現（法人内の好事例収集と公開）（継続）
- ⑦ＩＴ機器や介護機器の活用の検討（継続）
- ⑧交流イベントの実施（継続）
- ⑨町内会や老人クラブ、サークル活動への参加・協力（継続）
- ⑩地域住民のコミュニケーションネットワークへの参画（継続）

（７）経営会議

- ①職員満足度調査の実施（終了）
- ②TFU グループにおける認知症対策を中心としたネットワーク化への参加・協力（継続）
- ③実習生の受入れや研修等の実施、大学院進学等による次代を担う人財の育成（継続）
- ④老朽整備計画に基づく対策の実施（別途計画書の作成）（継続）
- ⑤収益増対策計画に基づく対策の実施（別途計画書の作成）（継続）
- ⑥補助金、助成金を活用した事業展開（継続）
- ⑦拠点ごとの公益的取組の整理と法人の一体的取組の実践（継続）
- ⑧住民ニーズに応じた補完的サービスの検討（継続）
- ⑨多様な働き方に関する検討（継続）
- ⑩住民ニーズ調査とニーズ把握（新規）

4. チーム体制と取組事項

（１）人財採用チーム

- ①法人全体の職員充足率（過不足）を定期的に把握し、採用計画の策定を行う
- ②新卒者対象の採用試験実施時期を早期化し、より良い人財の確保に向けた取組を行う
- ③東北福祉大学との連携を強化し、インターンシップの受入れの強化、実習修了者・学生アルバイトの採用枠を有効活用し、即戦力候補となる人財確保に向けた取組を行う
- ④外国人人材の採用に関する情報収集等を行い、法人全体の介護職員等、人財が不足する職種に対する外国人人材の活用に関する提案を行う
- ⑤法人の魅力発信や人財採用活動に対して SNS（Instagram・X・YouTube 等）の活用を行うまた、求職者（特に学生）が望む内容の発信が出来るよう、東北福祉大学との連携を図る

（２）人財育成・評価チーム

- ①法人階層別研修については、令和 6 年度の研修内容を基本とし実施するが、特に「経営・管理職」向け研修においては外部講師（他事業所の管理者、金融機関等）を招き、研修を実施し経営に関する視点・知識・意識の向上を図る。
- ②領域別専門教育の促進のため、複数領域（児童・障がい・高齢）事業を展開する「せんだんの杜」において、拠点内研修を年 1 回～2 回実施する。（実施に際しては、他拠点にも事前周知を行い参加するよう促す）
- ③退職リスク低減につながる講義内容を研修プログラムに盛り込む。
- ④現状のキャリア・デザイン内容の検証を行い、追加事項等があれば追加を行い、令和 8 年度の事業計画に盛り込む。

⑤令和8年度に向け、現状の評価表内容の簡素化に向けた検討を行う。

(3) 運営環境整備チーム

- ①法人経営の向上に向けた取組、経営層並びに他チームへの情報発信、協力、提案の実行
- ②労働安全チームと連動した「すべての職員」が働きやすい職場づくりの推進
- ③くるみん認定継続の取組の推進

(4) 労働安全チーム

- ①ストレスチェックを活用したメンタルヘルスの強化
- ②労働災害の調査結果を周知、啓発、事前防止の推進
- ③両立支援コーディネーター認定講習の推進により、制度や病気、社会資源等の知識を習得し、組織的な両立支援の取り組みを実施

(5) 事業運営・企画チーム

- ①法人内各チームとの協働を基に、働きやすい職場環境づくりに取り組み、人財の流出を防ぐ
- ②フルタイムで勤務する人財だけでなく、パート職員や介護助手等を有効活用していき、超過勤務の軽減を図ると共に、多様なニーズに応える対応力を強化する
- ③ICT・介護ロボ等の導入を積極的に行い、生産性の向上だけでなく、職員の心身の負担軽減につなげ、人財の定着を図る
- ④サービスの質向上、利用者満足度を高めるために、職種に応じた学びの機会を創出し、知識・技術・態度の会得、向上に努める
- ⑤虐待防止・身体拘束の適正化等に対して、チーム全体で真摯に取り組み、人権や尊厳を守るための組織づくりを行う

(6) 実習支援チーム

- ①令和6年7月に発足したことにより、各拠点の実習における実態把握の継続と、統一事項の整備を行う
- ②教育機関からの要望に対する整備し、組織的に人材育成をしていく
- ③実習受け入れにかかる倫理行動指針の策定

5. 組織体制（※別添組織体制図参照）

6. 人員体制（※別添人員体制資料参照）

7. 各拠点の取組事項

(1) せんだんの杜

①目標

全職員が一丸となり、職員にとってよりよい環境を作り、その恩恵が利用者・地域に対して良い支援として届く事で、より理念に近づく「せんだんの杜づくり」を行う。その結果、盤石な経営となる取り組みをする。

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

ア. 各サービスの利用率の向上（介護保険分野の空床期間の減少／障害福祉サービス分野の統合による定員増、稼働率向上と固定費削減、柔軟な職員体制からの収益増）

イ. リベラ荘、フェリコ館の老朽化対策、ボイラー設備等の入れ替えの実施をする

ウ. 法令・就業規則等の遵守、ガバナンスの強化を図り、誰もが安心できる組織体制作りを実施する

エ. 理念に基づかない人柄・態度への対応や、制度に基づかない業務姿勢等の職員への対応を怠ることなく、ハラスメント・虐待・権利侵害をしない職員教育を徹底する

【地域における公益的な取組】

ア. 認知症カフェ、ボランティア受け入れ、町内活動のサポートを強化する

イ. せんだんの杜・地域共にメリットある運営推進会議等を実施する

③事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、令和6年12月末日時点での利用率）

No	事業所名	定員 (人)	令和7年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘（従来型）	36	95.0%	93.2%
2	同上（ユニット型）	18	93.0%	92.7%
3	ケアハウスフェリコ館	30	99.7%	99.5%
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所	16	91.4%	88.4%
5	国見ヶ丘地域包括支援センター（予防）	—	3,600件	3,600件
6	遊杜家（放課後等デイサービス）	20	103%	101%
7	国見ヶ丘の家（放課後等デイサービス）	10	100%	101%
8	杜の工房（就労支援B型）	30	100%	110%
9	国見ヶ丘せんだんの杜保育園	105	100%	106%
10	国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園	12※	100%	106%
11	せんだんの杜地域子育て支援センター	—	3,360件	3,000件
12	せんだんの家（児童自立援助ホーム）	9	88%	77%
備考				

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. リベラ荘・フェリコ館 ボイラー設備更新	
必要性	使用から30年経過しており、老朽化のため
購入内容	リベラ荘給湯ボイラー設備・冷暖房設備、フェリコ館給湯ボイラー設備
発注予定先	東北電力、仙台市ガス局、NX商事、スイッチオンの4社に見積もり依頼中
予定価額	未定
支払方法	積立資産での支払残額を割賦支払またはリース支払を予定している
支払資金	積立資産・経常資金

(2) せんだんの杜ものう

①目標

- ア. 桃生地域における人口推移を注視し、マイナスとなる事業については休廃止・統合等を視野に入れた見直しを行う。必要なサービス種別、量を見極め、収支バランスの適正化を図り、財政基盤の強化に取り組む
- イ. 開所より 25 年が経過し、建物・設備の老朽化・経年劣化等が顕著であることから、利用者の安全性、職員の働きやすさを担保するための修繕計画の立案と工事等を実施する
- ウ. 地域住民・団体・他機関との連携を強化し、地域課題改善に向けた取組みを協働して実践する
- エ. 教育体制の強化に取り組み、サービスの質向上、利用者満足度向上につなげていく。合わせて、業務内容・勤務体制の見直しによる働きやすい職場づくり、介護機器の見直し、選定を行うことによる生産性向上のための取組みを行う

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

- ア. 地域の現状について、地域住民、他機関や行政等とのコミュニケーション機会を設け、必要なサービス種別、量を見定めていく
- イ. 稼働状況、収支状況を職員全体で把握する機会を設け、課題がある事業に関して改善に向けた検討、実践に取り組む
- ウ. 災害や感染症に対する教育機会を充実することで知識を深め、実際に想定した訓練を繰り返すことで実践力を高め、対応力向上に努める
- エ. 施設建物および設備の老朽化等対策に対して、計画的かつ弾力的に取り組み、事業実施のための維持管理に努める
- オ. 各種研修への参加、動画コンテンツを用いた個々の学習機会を増やすことで、知識・技術を高めることでサービスの質向上につなげていく。また、態度に関する学びの機会を設け、人権の尊重や尊厳の保持を意識した丁寧な対応に努める
- カ. 介護職員の働きやすさや、業務効率・生産性向上に向けた介護機器、ICT の導入について情報収集と検証を職員全体で取り組む

【地域における公益的な取組】

- ア. 令和 6 年度に実施した「ものう食のフェスティバル」では地域の高齢者だけでなく、子どもや子育て世代の方々多く来所頂けた。その経験を活かし、令和 7 年度も同様の形で実施するかまたは、地域食堂として定期的に集まれる機会を提供することを検討していく。実践を継続することで、住民と「顔が見える関係」づくりにつなげ、地域ニーズの把握や、引きこもりとなっている方々等が気軽に集える場所の提供を行っていく
- イ. ものう運営委員会の実施、桃生地区ささえあい会議（市社協主催）、桃生地区まちづくり会議等への参加を通じて、桃生地区の現状、人口動向の把握、分析を行い、地域の実情に即したサービス展開を構築していく
- ウ. 現在提供を行っている自主事業サービス（ナイトケア・制度外デイサービス・制度外訪問介護・配食サービス）について、各種制度により対応ができる範囲が広がり、需要が少ないことから、制度の狭間にある方に対するサービス提供内容の見直しを図ると共に実践していく

③事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、令和6年12月末日時点での利用率）

No	事業所名	定員 (人)	令和7年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	62	98.0	93.8
2	地域福祉センター通所介護事業所(月～金)	30	77.0	71.6
3	ものう短期入所生活介護事業所	3	100.0	115.0
4	ものう訪問介護事業所	—	450（時間）	422（時間）
5	ケアハウスフェリカ	15	99.0	94.7
6	なかつやま第一通所介護事業所（月～日）	10	75.0	62.2
7	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業所	9	99.0	87.2
8	ものう居宅介護支援事業所	—	105（件）	99.0（件）
9	石巻市ものう地域包括支援センター	—	110（件）	96.1（件）
10	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	20（人）	16.6（人）
11	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	40（人）	37.9（人）
備考	特別養護老人ホームファミリオは、R5.10.1より定員を50人から62人へ変更 短期入所生活介護事業所は、R5.10.1より定員を12人から3人へ変更 地域福祉センター通所介護事業所は、R5.4.1より定員を25人から30人へ変更			

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. 予定なし	
必要性	
購入内容	
発注予定先	
予定価額	
支払方法	
支払資金	

(3) せんだんの里

①目標

- ア. 地域における公益的な取り組みをととして開かれた施設運営を行い、地域に選ばれる施設となる。
- イ. お年寄りを始め障がいのあるなしに関わらず、支援を必要とする方が誰でも利用できる施設となる。
- ウ. 利用者に満足してもらえるようサービスの質の向上を図り、利用の希望を断らないサービス提供をととして、利用者のご家族の信頼を高める。

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

ア. 既存サービス機能等の有効活用

- (ア) 入居系サービス（特養・グループホーム）の稼働率を高い状態（96%以上）で維持するとともに、退居者が出た後の次の入居者が入るまでの期間を平均で1週間とする。
- (イ) ショートステイの長期利用と短期利用のバランスを図り、稼働率を高める。（90%以上）
- (ウ) 近隣地域におけるデイサービスの減少を踏まえ、在宅生活を支えるサービスとしての機能を発揮し、高い水準での平均稼働率（77%以上）を維持する。
- (エ) 空いているユニットを活用し、新規で障がい者グループホームを立ち上げ、主に働く障がい者の住環境となるサービスを提供する。あわせて、高齢者と障がい者が触れ合える場づくりを構築する。

イ. 職場環境の整備

- (ア) 虐待、権利侵害、ハラスメントの根絶を目指した倫理教育の実践やストレスチェックを活用しストレス解消に向けた取り組みを行うとともに、職員が双方向で意見を出し合える風通しのよい職場環境づくりを行う。
- (イ) 業務内容の見直しと切り分けにより、サービスの提供に必要な人員を整え、超過勤務の50%削減と休日労働を行わない体制を整備する。
- (ウ) フルタイムで働くことができる人材獲得の困難を解消するため、近隣地域の高齢者や学生アルバイト、外国人労働者等多様な人材の活用と多様な働き方の環境づくりを行う。
- (エ) 建物や設備の老朽化に備え、建物修繕や設備更新を行うための経費の圧縮や実施時期を見極めるための計画を作成する。
- (オ) 物価の高騰や野菜・米等の価格上昇を踏まえ、食事の提供体制や業者委託型の給食提供を見直し、管理費等の費用削減に向けた検討を行う。

ウ. 生産性の向上に向けた実践

- (ア) すでに導入している各種システムやICT・ロボット等機器を活用し、サービスの質の向上と効率化を図る。
- (イ) 生産性の向上に向けた業務改善や業務負担軽減のため、補助金を活用しICT化を図る。

【地域における公益的な取組】

- ア. 東北福祉大学を始め多くの実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成と雇用につなげる。
- イ. 広報紙の発行や地域向けのイベント（認知症カフェ、施設見学会等）を開催し、施設の見える化をととして地域に必要とされる施設を目指す。
- ウ. 災害時に福祉避難所として機能するための整備や町内会等近隣地域・関係者等との連携を図るためにBCPを見直すとともに、BCPに基づく研修・訓練をととして災害対応力を強化する。
- エ. 法人内拠点との連携や町内会、学生アルバイト等との協働により、地域のニーズを踏まえた制度に捉われない新しいサービスの開発と実践をととして共に生きるまちづくりを進める。

③事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、令和6年12月末日時点での利用率）

No	事業所名	定員 (人)	令和7年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	せんだんの里特別養護老人ホーム	160	98.1%	98.1%
2	せんだんの里ショートステイ (障がい福祉サービス空床利用型を含む)	17	91.2%	80.6%
3	せんだんの里デイサービス	30	77.0%	76.0%
4	せんだんの里グループホーム	27	96.3%	93.0%
5	せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム	9	(休止中)	(休止中)
6	せんだんの里居宅介護支援事業所 (介護予防支援受託分を含む)	—	150.0(件)	147.3(件)
備考	・令和6年11月以降、せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム休止			

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. 予定なし	
必要性	
購入内容	
発注予定先	
予定価額	
支払方法	
支払資金	

(4) せんだんの館

①目標

- ア. 収支の安定につながるマネジメントの実施と収益の強化
- イ. 業務の適正化と働きやすい職場環境づくり
- ウ. 設備の老朽化に対する計画的な修繕と設備更新
- エ. 地域のニーズに即した地域公益活動の検討・実施

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

- ア. (ア) 退去後の空床期間を7日以内に調整（特別養護老人ホーム）
(イ) 入院中の空床利用の活用（ショートステイ）
- イ. (ア) 専門パートの配置やＩＣＴ機器の検討・導入および勤務体制の整備
(イ) 学習機会の確保と個々人の能力開発
- ウ. (ア) 敷地内危険箇所の環境整備や福祉機器の更新

【地域における公益的な取組】

- ア. (ア) アウトリーチ活動
(イ) 子ども食堂（地域食堂）の再開と学習支援の継続
(ウ) ぷらっとカフェすまいるの企画・運営
(エ) 地域の住民に向けた見学会等の実施
(オ) 北仙台ふくし座談会を活用した全世代との交流やネットワーク形成
(カ) 福祉教育を通じた次世代育成

③事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、令和6年12月末日時点での利用率）

No	事業所名	定員 (人)	令和7年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	98.5	97.3
2	せんだんの館ショートステイ	20	90.0	88.6
3	せんだんの館デイサービス	40	75.0	70.9
4	せんだんの館居宅介護支援事業所	—	76人/月(件)	69.4人/月 (件)
備考				

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. 多目的カメラの更新、増設について	
必要性	・仕事の効率化および環境改善に活用 ・トラブル発生時に状況検証に使用
購入内容	多目的カメラ設置
発注予定先	東通インテグレート（株）
予定価額	3,800,000円（税別）
支払方法	72回払／予定月額リース料57,500円（税別）
支払資金	経常資金を充当

2. 入浴装置一式の更新について（3年計画の2年目）	
必要性	開設当時導入して以来20年が経過し、故障頻度の増加と交換部品の製造が終了したため
購入内容	入浴装置、電動昇降シャワーチェア、フラット担架、コンパクトストレッチャー各2台
発注予定先	（株）ジェー・シー・アイ
予定価額	13,090,000円（税別）
支払方法	84回払／予定月額リース料176,800円（税別）
支払資金	経常資金を充当

3. 電話設備の部分更新について	
必要性	保守期限切れのため、電話機の増設や故障時の修理が不可となっているため
購入内容	電話設備機器
発注予定先	東通インテグレート（株）
予定価額	3,800,000円（税別）
支払方法	72回払／予定月額リース料57,500円（税別）
支払資金	経常資金を充当

4. 敷地内環境整備について	
必要性	敷地内の安全確保向上のため
購入内容	駐車場内区画線改修、歩道柵設置工事
発注予定先	キングラントウホク（株）
予定価額	1,320,000円（税別）
支払方法	一括払い
支払資金	経常資金を充当

5. 福祉車両の更新について	
必要性	開設当時導入した福祉車両が20年を経過し、福祉架装部分の故障頻度が高いため
購入内容	N-ボックス2台
発注予定先	ホンダ
予定価額	2,106,550円（税別）×2台＝4,213,100円
支払方法	60回払／予定月額リース料36,927円（税別）×2台＝73,854円
支払資金	経常資金を充当

(5) 認知症介護研究・研修仙台センター

①目標

東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との連携を深めながら、1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他事業を実施する。

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

ア. 研究事業

研究事業補助金等による研究事業

(ア) 研究調査

老人保健健康増進等事業／厚生労働省委託事業／科学研究費助成事業／運営事業費における研究事業

(イ) 研究の取り組み

研究事業の倫理的観点からの検討（倫理審査委員会）／研究資料の収集・整理／研究成果報告会の開催／3センター合同研究成果報告会の開催

(ウ) 研究成果の広報

DCnet 等による各研究の成果公表

イ. 研修事業

都道府県等の研修委託費等による研修事業

(ア) 認知症介護指導者養成研修の実施

第1回：6月9日～8月22日 第2回：10月6日～12月5日

(イ) フォローアップ研修の実施

2回開催（日程調整中）

ウ. 運営事業

運営事業補助金による事業

(ア) センター運営協議会・外部評価委員会の開催

(イ) 認知症介護研究・研修センター全国運営協議会の開催

(ウ) 認知症介護セミナーの開催（法人における共同事業として）

(エ) 認知症介護教育・研修の活動支援

(オ) 認知症介護指導者スキルアップセミナーの開催

(カ) 認知症介護実践者等養成事業に係る行政担当者セミナーの開催

エ. その他事業

(ア) 認知症介護基礎研修 e ラーニング運用事業

(イ) センター企画研修事業（認知症を学ぶ30分ナイトセミナー、認知症カフェモデレーター研修）

(ウ) 仙台市認知症ピアサポート活動支援業務

【地域における公益的な取組】

ア. 土曜の音楽カフェ♪（認知症カフェ）の企画・運営（毎月第1土曜日）

イ. おれんじドア運営の支援

ウ. 認知症の人と家族への一体的支援事業の取組支援

③研修別目標と前年度実績の比較

No	研 修 名	定員 (人)	令和 7 年度目標 (人)	前年度実績 (人)
1	第 1 回認知症介護指導者養成研修	20	2 0	1 9
	第 2 回認知症介護指導者養成研修	20	2 0	1 9
2	第 1 回フォローアップ研修	20	2 0	1 0
	第 2 回フォローアップ研修	20	2 0	9 (見込)

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. 予定無し	
必要性	
購入内容	
発注予定先	
予定価額	
支払方法	
支払資金	